

【農学部 アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

農学部総合農業科学科は、農芸化学コース・応用植物科学コース・応用動物科学コース・環境生態学コースの4コースで組織されています。

農学部では、学生が幅広い教育科目を通じて適性を判断し、興味を持てる専門のコースや研究ユニットを選択することができます。1年次には一般教養科目の履修と並行して、農業科学の概要を把握するための専門基礎科目を履修します。2年次には各コースに所属して、専門科目を通じて自分自身の適性を見だし、3年次から順次、研究ユニットに所属します。4年次には卒業論文作成を目的に実践的研究を経験します。

このカリキュラムは、農学に関する幅広い基礎知識を修得し、その上にそれぞれの専門分野の知識を積み上げていくことができるのが特色です。農学部はこのカリキュラムのメリットを活かして、多様化する社会的要請に対応し、幅広く応用力を発揮できる人材の養成を目指します。

求める人材

1. 高等学校で、教育カリキュラムに興味をもって取り組み、積極的な学習姿勢を確立した人
2. 大学で、広く農学を学んだ上で専門的な学習をしたいという強い意欲をもつ人
3. 将来、実社会で農学はもとより様々な分野で活躍する強い意欲をもつ人、または、技術者や研究者として活躍する強い意欲をもつ人
4. 高等学校卒業レベルの英語を含む幅広い基礎学力と理解力・思考力を有している人

入学後の学修のため、数学は以下の科目の内容を修得していることが望まれます。

数学(数学I, 数学II, 数学III, 数学A, 数学B)

また理科は以下の科目のうち複数の科目を履修していることが望まれます。

物理(物理基礎, 物理), 化学(化学基礎, 化学), 生物(生物基礎, 生物), 地学(地学基礎, 地学)

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

5教科7科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

3教科4科目の個別学力検査では、数学・理科・外国語(英語)を課し、農学を学ぶ上で基盤となる科目の理解度と応用力を評価します。

・学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さないもの)

書類審査(調査書, 推薦書, 志望理由書, 英語資格・検定試験の成績), 小論文と面接(口述試験を含む)の結果を総合して評価します。

小論文では、農学を学ぶ上で重要な読解力, 論理的思考力, 表現力を評価します。

面接では、意欲, 自己表現力と対話力, 農学を学ぶ上で基盤となる科目の理解度と応用力を評価します。

・社会人選抜

書類審査(調査書, 社会人選抜志望理由書, 英語資格・検定試験の成績), 小論文と面接(口述試験を含む)の結果を総合して評価します。

小論文では、農学を学ぶ上で重要な読解力, 論理的思考力, 表現力を評価します。

面接では、社会人としての経験、意欲、自己表現力と対話力、農学を学ぶ上で基盤となる科目の理解度と応用力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

書類審査と面接等の結果を総合して選抜します。

書類審査では、日本留学試験と英語資格・検定試験の成績、志望動機、課題作文を課し、基礎的な日本語能力ならびに数学・理科・英語の理解度を評価すると共に、課題解決に意欲と探究心を持つ人材を選抜します。

面接では、意欲、自己表現力と対話力、論理的思考力を評価します。

・国際バカロレア選抜

農学部で広く農学を学び、国際的に通用する人材となる強い意欲を評価します。

書類審査により、成績評価証明書、自己推薦書、評価書を通して、基礎学力、自己表現力、意欲を評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
	○		◎		☆	
一般選抜(前期日程)	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査(数学, 理科, 外国語)	☆	調査書
学校推薦型選抜 I	○	英語資格・検定試験成績	◎	面接(口述試験を含む)小論文	○	面接調査書・推薦書・志望理由書

(注) ◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。